

緊急景気対策や生活者支援に 21億円余の補正予算などを議決

問合せ先
議会事務局
☎35-3152

平成21年第4回高山市議会定例会が、9月1日から18日までの会期で開かれています。

初日の本会議では、国の経済危機対策補正予算を最大限に活用し、地域活性化や生活者支援などに引き続き取り組むため、総額21億8千万円余の補正予算などを議決しました。

高山市議会定例会が開会中

- 地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用
- ▽低炭素社会(都市)づくりのために
 - ・市役所から高山駅北交差点までをモデル区間としてソーラ発電による街路灯を整備 6千200万円
 - ・庁用車にハイブリッド車を導入 4千100万円
- ▽活力と魅力ある地域づくりのために
 - ・中心市街地の空き店舗をアンテナショップなどに整備 2千500万円
 - ・旧矢嶋邸の隣接地へ町並み展望公園を整備 2千500万円
 - ・旧教員住宅(朝日町秋)を整備 1億6千万円
- ▽安全・安心・快適なまちづくりのために
 - ・久々野公民館のエレベーター設置など、バリアフリー化 4千400万円
 - ・特別養護老人ホーム八光苑にスプリンクラーを設置 9千700万円
 - ・獣害防止対策として、電柵の整備助成や箱わなの設置 3千万円
 - ・誰もが安心して歩ける融雪ブロック・知らせるあかり歩道の整備 3千600万円
 - ・清見町牧ヶ洞に公文書館を整備 1億6千万円
- ▽次世代を担う人づくりのために
 - ・私立・公立保育園などの遊具整備 8千600万円
 - ・飛騨プラネタリウム(清見町夏厩)の投影システム整備 600万円
 - 地域活性化・公共投資臨時交付金の活用
 - ・下水道整備事業(国府地域・奥飛騨温泉郷栃尾地域)を前倒しして実施 2億9千万円
 - さらなる公共事業等の実施
 - ・農業施設の修繕や道路橋梁の改修など 2億6千万円
 - 国の経済危機対策補正予算の最大限の活用
 - ・子育て応援特別手当支給事業(次ページに詳細)など 2億5千万円
 - 緊急雇用対策の実施
 - ・緊急雇用創出事業の拡充継続や、住宅手当緊急特別措置(下段に詳細)など 1億2千万円

住宅費支給で再就職支援

市では、現在の厳しい雇用状況の中で、生計中心者の離職により住居を喪失したり、喪失するおそれのある世帯に、住宅費を支給することにより再就職への支援を行います。

◆申請できる方

2年以内に離職し、離職前に主として世帯の生計を支えていた方で、再就職に向けた活動を行っている方。

◆支給する住宅手当

賃借する家賃額と月額 29,000 円のいずれか低い額を最長6ヶ月間支給します。

◆支給の条件

- ・世帯の収入額などにより申請できない場合があります。
- ・国などの同趣旨の貸付金・給付金を受けている方や、生活保護を受けている方は対象となりません。
- ・再就職に向けた活動ができる方が対象です。

◆申請方法

10月1日から福祉課窓口で受付

問合せ先 福祉課 ☎35-3139

- 9月議会の主な提出議案
- 報告案件(1件)
- 認定案件(1件)
- 条例案件(2件)
- 事件案件(9件)
- 予算案件(7件)

補正予算(地域活性化・生活対策、新型インフルエンザ備蓄品整備事業、災害復旧事業など)ほか
このうち、10件を初日に可決しました。また30件の陳情受理報告がありました。

- 健康保険法の改正に伴い出産育児一時金を暫定的に引き上げる条例改正ほか
 - ▽スクールバス2台の取得
 - ▽小中学校用コンピュータの取得
 - ▽市道の廃止や認定ほか
 - ▽平成21年度高山市一般会計
- また、17日には予算特別委員会、最終日の18日には各委員会の審査結果報告の後、採決が行われる予定です。